

# 事業報告書

2023年4月1日 ~ 2024年3月31日

公益財団法人 藤原ナチュラルヒストリー振興財団

公益財団法人藤原ナチュラルヒストリー振興財団  
2023年度 事業報告

I. 事業の状況

1. ナチュラルヒストリーの学術研究に対する助成(定款第4条第1項第1号)【公1】

ナチュラルヒストリーの分野を動物・非動物に分け、今年度は日本国内の大学、研究施設に勤務するか、又は日本国内に居住する非動物分野(地学・植物学)の研究を行っている個人又はグループに対し、研究に必要な資金を助成する。

・2024年1月31日開催の第54回理事会において、地学17名、植物学32名の申請の中から、2回の選考委員会によって15名が選ばれ、助成額は10,152,000円となった。その後、2名が辞退、2名を繰り上げ採択し、そのうち1名が辞退したため、最終的に14名、総額9,404,000円を2023年度の学術研究助成者として承認し、助成額を贈呈した。

(助成者一覧:別表1参照)

2. 初等中等教育機関におけるナチュラルヒストリーの学習支援、並びに教員の研究活動に必要な実験器材や教材等への補助(定款第4条第1項第2号)【公1】

・2023年度は、初等中等教育機関の中で、特に高等学校における生物の授業に必要な備品の購入等への補助を、日本国内の高等学校、並びに各国の日本人学校の高等部に対し行う。

補助の内容は、(A)①必要な備品の購入、②日本国内での課外活動に必要な交通費等、(B)古い生徒用顕微鏡の買換えとする。

・2024年1月31日開催の第54回理事会において、33件(A①12件、②3件、B18件)の申請の中から、2回の選考委員会によって選ばれた5件(A①1件・②1件、B3件)について検討し、総額3,822,674円(A①591,020円、②300,000、B2,931,654円)を2023年度の高等学校助成校として承認し、各校に贈呈した。

(助成校一覧:別表2参照)

3. その他この法人の目的を達成するために必要な事業(定款第4条第1項第3号)

(1)2023年度シンポジウム【公2】

・2023年9月24日ナチュラルヒストリーに関する第15回シンポジウム(テーマ:味の自然史)を、中央大学後楽園キャンパスにおいてハイブリッド形式で開催し、4名の講師による以下の講演を行い、参加者は103名であった。

・戸田 安香(明治大学) 「脊椎動物における旨味・甘味の進化史」

・三坂 巧(東京大学) 「おいしさを決める「味覚」の不思議」

・永田晋治(東京大学大学院) 「無脊椎動物・節足動物・昆虫が感じる味」

・國府方 吾郎(国立科学博物館) 「自然史から和食を考えてみようー国立科学博物館の特別展「和食」を例にー」

・2023年10月15日九州シンポジウム「天変地異の時代～火山列島に生きる～」を、アクロス福岡においてハイブリッド形式で開催し、4名の講師による以下の講演とパネルディスカッションを行い、参加者は146名であった。

・田村芳彦((国研)海洋研究開発機構) 「日本列島は火山の噴火で生まれた！」

- ・宮縁育夫(熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター) 「阿蘇カルデラはどのような噴火でできたのか？」
- ・杉本伸一((公財)雲仙岳災害記念財団 雲仙岳災害記念館) 「火山とともに生きる」
- ・清水 洋(九州大学名誉教授・(国研)防災科学技術研究所 火山研究推進センター) 「火山噴火の予知はできるか？」

・パネルディスカッション 「人と火山と共に」

コーディネーター 福島大輔(桜島ミュージアム)、パネリスト 宮縁育夫、杉本伸一、吉田茉莉子(桜島ジオサルク)

## (2) 2023年度高校生ポスター研究発表 【公2】

第13回高校生ポスター研究発表を、昨年同様、オンラインで11月19日に開催した。1校1課題として、13校の高校生によるポスター発表が行われた(参加は14校)。都合により1校が発表は不参加となったが、大きな問題も無く終了した。また、上田恵介先生より、「鳥のつがい関係を探る」と題した特別講演も行われた。発表後に以下のとおり、最優秀賞1件、優秀賞2件を表彰した。

### 最優秀賞

「夕暮れに現れる謎の雲に迫る ～ヒートアイランド強度とGPS 大気遅延量を駆使して～」

愛媛県立松山西中等教育学校：若山唯織・大木修平・丹 貴虎

### 優秀賞

「都市公園における鳥類相と環境利用」

東京都立科学技術高等学校：佐藤暖哲・鞠子 禅

「ガクアジサイの装飾花が長期間にわたり反り返って残る理由」

浦和実業学園高等学校：宮本航聖

## (3) 2023年度フォトコンテスト 【他1】

第10回中学生・高校生フォトコンテストを、7月1日から9月30日までを応募期間として開催し、531名の応募があった。伊藤元己フォトコンテスト選考委員長の「第10回中学生・高校生フォトコンテスト選考経過報告書」を基に、11月30日に電磁的理事会を開催し、以下のとおり最優秀賞1名並びに優秀賞3名、佳作10名を決定した。(優秀賞は昨年同様3名とした。)

最優秀賞 「キムカムイの躍動」 佐藤 壮笑(市立札幌開成中等教育学校)

優秀賞 「よっこいしょ」 廣部 美咲(福井県立丹生高等学校)

「利尻の夜のつるし雲」 西島 一樹(立命館慶祥高等学校)

「命のつなぎ」 加藤 瑤太(海津市立日新中学校)

佳 作 「あっ」 長岡颯馬(浜松日体高等学校)他9名

又、一般の第15回フォトコンテストは、10月1日から11月30日までを応募期間として開催し、73名の応募があり、伊藤元己フォトコンテスト選考委員長の「第15回フォトコンテスト選考経過報告書」を基に、2024年1月31日開催の理事会において、以下のとおり最優秀賞1名、優秀賞2名、佳作6名を決定した。

最優秀賞 「名月に誘われて」 有岡 亨

優秀賞 「長旅の途中」 伊藤 京子

「点々とする夕焼け雲」 林 真之介

佳 作 「野生化外来種」 梅津 潤 他5名

各フォトコンテストの受賞作品及びコメントを当財団ホームページに掲載した。全応募作品も掲載済みである。

## II. 庶務の概要

### ① 役員会等に関する事項

## (1) 理事会(総理事数9名、定足数5名)

定款第44条により、電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、理事会決議があったものとみなすこととなっております。

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果	出席人数
2023/5/23 第51回理事会	1 2022年度事業報告及び附属明細書承認の件 2 2022年度収支決算書承認の件 3 理事・監事・顧問候補者選任の件 4 評議員候補者選任の件 5 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について 6 東京シンポジウムについて 7 高校生ポスター研究発表について 8 報告事項:理事長(書面にて)及び常務理事より、職務執行 状況報告 (その他:各事業委員長と事務局から、2023年度の各事業の開催方法等の報告等。)	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 出席者全員了承 出席者全員了承	理事9、監事1
2023/6/13 第52回理事会	1 理事長、常務理事選定の件	全会一致で承認・可決	理事9、監事2
2023/11/30 (電磁的) 第53回理事会	1 第10回中学生・高校生フォトコンテスト受賞作品承認の件	全会一致で承認・可決	理事9、監事2
2024/1/31 第54回理事会	1 2023年度学術研究助成決定の件 2 2023年度高等学校助成決定の件 3 第15回ナチュラルストーリーフォトコンテスト受賞者承認の件 4 報告事項:理事長及び常務理事より、職務執行状況報告 (その他:能登半島地震に対する支援の実施方針の検討、学術助成選考結果の通知方法変更の検討、次年度事業東京シンポジウムのテーマと今後の方針の検討、次回理事会開催の通知)	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 出席者全員了承 出席者全員了承	理事9、監事2
2024/3/14 第55回理事会	1 2024年度 事業計画承認の件 2 2024年度 収支予算書承認の件 (資金調達並びに重要な設備投資の見込みを含む) 3 特定資産預入承認の件 4 2024年度 学術研究助成選考委員選任の件 5 2024年度 東京シンポジウムのテーマについて 6 職員給与規程改正の件 7 報告事項:2023年度の学術研究助成候補者の辞退者について (高校ポスター発表開催日の検討、次回および次々回理事会開催日の通知)	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 出席者全員了承 出席者全員了承	理事9、監事1

## (2) 評議員会(総評議員数10名、定足数6名)

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果	出席人数
2023年6月13日	1 2022年度事業報告並びに附属明細書報告の件 2 2022年度収支決算書承認の件 3 理事・監事選任の件 4 評議員選任の件 5 報告事項:理事長及び常務理事より、職務執行状況報告及び事務局より、2023年度の各事業開催方法等についての補足報告がなされた。	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 出席者全員了承 出席者全員了承	評議員7 (理事9、監事2)

## (3) 選考委員会(学術研究助成)

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
2023年6月21日	1 選考委員長と分野長の選出 2 学術研究助成についての説明 3 審査の方法 4 評価の方法 5 応募要領及び申請書について	平田大二氏(神奈川県立生命の星・地球博物館)を委員長に、堤 千絵氏(国立科学博物館)を分野長に選出。申請案件を各選考委員によって3つの評価項目に付き4~1の評点を記し、総合評価としてA~Dの評点を記入した評価表を作成し、これらをまとめた総合評価表を基に、選考委員会において最終決定することを承認。
2023年11月30日	2023年度学術研究助成(非動物学)候補者選定の件	候補者として15名総額10,152,000円を選考した。又、決定後辞退があった場合を考慮し、繰上げ候補者2名を選考した。その後の取扱いについては選考委員長に一任することとなった。

## (4) 選考委員会(高等学校助成)

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
2023年5月26日	1 選考委員長の選出 2 募集案内及び申請書について 3 審査の方法 4 評価の方法	前川 恵氏(都立西高等学校)を委員長に選出。事務局より助成総額と各助成金額と助成内容(A①備品・②日本国内での課外活動に必要な交通費等の補助・B生徒用の古い顕微鏡の買換え補助の3通り)は昨年度と同様という説明がされた。申請案件を各選考委員によって、A①と②は3つの評価項目の評点(5~1点)、総合評価(A~D)、優先順位を記入した評価表を作成、又、Bについては備品台帳を確認の上、古いもの・地域性を考慮した上で優先順位を記入した評価表を作成し、これらをまとめた総合評価表を基に最終決定することを承認。
2023年12月8日	2023年度高等学校助成候補校選定の件	候補校として5件(A①1件・②1件・B3件)総額3,743,800円を選考した。物価高等が著しいため、金額は委員会後に各候補校より見積書の提出を受けて検討することとなった。その結果、3,822,674円を理事会に答申することとなった。

選考委員(学術研究助成):6名

学術分野	氏名	就任年月日	現 職	備考
非動物学	平田 大二	2023年4月1日	神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館員	委員長
〃	久田 健一郎	〃	文教大学非常勤講師	
〃	齋藤 めぐみ	〃	国立科学博物館 地学研究部 研究主幹	
〃	堤 千絵	〃	国立科学博物館 植物研究部 研究主幹	植物学分野長
〃	岩崎 貴也	〃	お茶の水大学 理学部 講師	
〃	伊藤 元己	〃	東京大学大学院 総合文化研究科 駒場博物館 (財団理事)	

選考委員(高等学校助成・旧備品助成):3名

氏 名	就任年月日	現 職	備考
前川 恵	2023年4月1日	東京都立西高等学校 教諭	委員長
宇都宮 裕	〃	東京都立成瀬高等学校 教諭	
加藤 孝一朗	〃	青山学院中等部 教諭	

② 職員に関する事項

(2024年3月末日現在)

職 名	常勤・非常勤	氏 名	採用年月日	担当事務	備考
職員	非常勤	藤原 基美子	1980年9月28日	事務局長	
職員	常勤	伴 志保	2023年12月18日	一般事務	

③ 許可、認可、承認、証明等に関する事項

該当なし

④ 契約に関する事項

該当なし

⑤ 寄付金に関する事項

該当なし

⑥ 内閣府公益法人(行政担当)への届出

提出年月日	届出内容
2023年6月27日	2022年度 事業報告・決算書
2023年7月26日	変更の届出(理事9名・監事2名任期満了による改選・評議員4名辞任による交代)
2024年3月28日	2024年度 事業計画書・収支予算書

<附属明細書の作成について>

上記の事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定されている附属明細書により、その内容を補足すべき重要な事項はありませんので附属明細書は作成しておりません。

## 学術研究助成者一覧表

2023年度(第32回)

助成総額 9,404,000円

〔地学〕 5名

No.	氏名	研究課題	助成金
1	遠藤 悠一	ペルム紀末の大絶滅”後の海洋生態系はどのように回復したのか？—南部北上帯稲井層群の古生物学的・層序学的検討—	53.5万円
2	谷元 瞭太	中期鮮新世温暖期に発生した地磁気極性反転イベントの高時間分解能復元	62.9万円
3	中島 保寿	腸管内容物化石に基づく中生代ウミガメ類の食性解析	66.3万円
4	平野 尚浩	島嶼生物の歴史的絶滅要因の推定：琉球列島の化石陸産貝類の例	70万円
5	LEGRAND Julien	古生代の孢子・花粉化石から探る日本列島の初期陸上植生の解明	70万円
合 計			322.7万円

〔植物学〕 9名

No.	氏名	研究課題	助成金
1	板垣 ひより	水環境に適応進化した子囊菌門ビョウタケ目の種多様性と生態的多能性の解明	34.5万円
2	川井 絢子	シャジクモ藻類と共生菌類・細菌類の共進化の解明	74.6万円
3	砂川 勇太	タマバエに送粉される植物の多様性と新規の花形質シンドローム	100万円
4	高橋 弥生	日本で多様化したクロモジ類の系統分化と集団動態の解明	89.3万円
5	中川 さやか	キク科河原植物における繁殖回数 of 攪乱応答：野外での実態解明	65万円
6	Diego Tavares Vasques	東アジア産Mecodium亜属(コケシノブ科)における隠蔽種の系統分類研究	60万円
7	原田 泰地	稲作とともに進化した「ため池植物」：その急速な適応戦略獲得の解明にゲノム情報で挑む	75万円
8	山本 晃弘	火山性強酸性土壤に特異的に生育するツクシテンツキの進化史の解明	65万円
9	如澤 侑汰	所蔵標本を活用した褐藻ネジモク類の分子系統解析および分類学的再検討	54.3万円
合 計			617.7万円

## 2023年度(第32回)高等学校助成一覧表

## 【A① 備品助成】

	学校名	生徒数	品名
1	香川県立多度津高等学校 全日制課程	1年 11名	テクノ販売FRP製水槽900L 273,800円
		2年 4名	テクノ販売濾過槽M型1槽(スノコ付) 129,400円
		3年 4名	かぶせ蓋(M型用) 38,300円
		クラブ活動その他19名	濾材(M型用) 32,800円
			日立ハンディビルジポンプCB-P80X 42,800円
			水槽、濾過槽送料 73,920円
			(消費税10%込み)
		(水族館来場者2300名/年)	
			<b>A① 合計 591,020円</b>

## 【A② 交通費助成】

	学校名	生徒数	
1	茗溪学園高等学校 全日制課程	1年 6名	
		2年 6名	
		3年 引率教員4名	
			合計 300,000円
			<b>A① 合計 300,000円</b>

## 【B 生徒用顕微鏡の買換え補助】

	学校名	生徒数	品名
1	学校法人池田学園池田中学・高等学校 全日制課程	1年 57名	島津 114-079B
		2年 50名	単価 56,000円
		3年 60名	台数 16台
			消費税10% 5,600円
			合計 985,600円
2	大阪府立農芸高等学校 全日制課程	1年 200名	生物顕微鏡 KS II -600LN ナリカ
		2年 200名	単価 38,180円
		3年 200名	台数 23台
			消費税10% 87,814円
			合計 965,954円
3	熊本県立東稜高等学校 全日制課程	1年 363名	ケニス生物顕微鏡 NJL-400SM-CN
		2年 346名	単価 40,500円
		3年 319名	台数 22台
			消費税10% 89,100円
			合計 980,100円
			<b>B 合計 2,931,654円</b>

<b>総合計 3,822,674円</b>
-----------------------